(傍線の部分は改正部分)

(一般乗合旅客自動車運送事業の運賃及び料金) (一般乗合旅客自動車運送事業者)という。)において「運賃等」という。)の上限を定め、国土交通大臣の認可を受けなければならない。これを変更しようとするときも、同様とする。  「一般乗合旅客自動車運送事業者は、第一項の認可を受けた運賃等の上限の範囲内で運賃等を定め、あらかじめ、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。これを変更しようとするときも、同様とする。  「一般乗合旅客自動車運送事業者は、第一項の認可を受けた運賃等の上限の範囲内で運賃等を定め、あらかじめ、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。これを変更しようとするときも、同様とする。  「一般乗合旅客自動車運送事業者は、第一項の認可を受けた運賃等を定めの旅客の運送を確保する必要がある路線又は営業区域(以下この項において「路線等」という。)に係る運賃等について協議が調つたときは、第一項及び前項の規定にかかわらず、当該通信等を定めることができる。当該協議会において当該地域の住民の生活のための旅客の運送を確保する必要がある路線又は営業区域(以下この項において「路線等」という。)に係る運賃等について協議が調つたときは、第一項及び前項の規定にかかわらず、当該通協議会において当該運賃等を定めることができる。当該協議会において当該運賃等を定めようとする。以下同じ。)又は都道府県  「当該運賃等を定めようとする一般乗合旅客自動車運送事業者という。)に係る運賃をでいて、当該運賃等を定めることができる。当該協議会において当該運賃等の変質を定めることにより、当該運賃等を定めようとする。以下同じないでは、第一段をは、第一段では、第一段をは、第一段では、第一段をは、第一段をは、第一段をは、第一段では、第一段では、第一段では、第一段では、第一段では、第一段では、第一段では、第一段では、第一段では、第一段をは、第一段をは、第一段では、第一段をは、第一段をは、第一段をは、第一段をは、第一段をは、第一段をは、第一段をは、第一段をは、第一段をは、第一段をは、第一段をは、第一段をは、第一段をは、第一段をは、第一段をは、第一段をは、第一段をは、第一段を	改正案
(一般乗合旅客自動車運送事業の運賃及び料金) 常九条 一般乗合旅客自動車運送事業者は、第一項の認可を受けた運賃等」という。)の上限を定め、国土交通大臣の認可を受けなければならない。これを変更しようとするときも同様とする。 2 (略) 2 (略) 3 一般乗合旅客自動車運送事業者は、第一項の認可を受けた運賃等の上限の範囲内で運賃等を定め、あらかじめ、その旨を国土交通大臣に届け出ることをもつて起りが強着令で定める関係者間の協議が調つたときは、当該一般乗合旅客自動車運送事業者は、第一項の認可を受けた運賃等の上限の範囲内で運賃等を定め、あらかじめ、その旨を国土交通省令で定める関係者間の協議が調つたときは、当該一般乗合旅客自動車運送事業者は、第一項及び前項の規定にかかわらず、方公共団体、一般乗合旅客自動車運送事業者は、第一項及び前項の規定にかかわらず、方公共団体、一般乗合旅客自動車運送事業者は、第一項及び前項の規定にかかわらず、あらかじめ、その旨を国土交通大臣に届け出ることをもつて足りる。これを変更しようとするときも同様とする。	現行

### 四三 当 該 路 線 等 を管理 轄 す る地 方運 輸 局長

前知 事 第 が 関 뭉 係 住民 規 定 0 す 意見 Ź 市 を代 町 村 表する者として指名す 0 長 は 同 号 12 規定する んる者 都 道 府 県 0)

5 8 公 項 聴 第 会 0 号に掲げる者 開 催 そ 0 他 0 は 住 同 民 項 利用者その  $\mathcal{O}$ 協議 をするときは、 他 利害関係者 あ 0 5 意見 か じ

反

映

させるため

に必要な措

置を講じ

なければならない。

5

6 通 8 る運賃及び料金を定めるときは、 大臣に届け出なけ 般乗合旅客自動車運送事業者は、 様とする。 ればならない。 これを変更しようとするとき あらかじめ、 第一項の国土交通省令で定 その旨を国土交

7

貸切 旅 客自 動 車 運 送事業の 運賃及び 料

金

第 般貸切: 九 これを変更しようとするときも、 条の二 を定め、 旅 客自 一般貸切旅客自動車 あらかじめ、 動車運送事業者」という。)は、 国土交通大臣に届け出なければならない\*業者」という。)は、旅客の運賃及び料 運送事業を経営する者 同様とする。 (以 下

2 この 事業者」とあるのは、 読 み替えるもの 前 場合において、 条第七項の規定は、 とする。 同 条第七項中 「当該 前 項の運賃及び料金につい 般 貸切 「当該一般乗合旅客自動車運送 奶旅客自 動 車 運 送 て準 事 業 用 者」 する。 と

般 用 旅 客自 動 車 運 送事業の 運賃及び料 金

第 玉 般 九 乗用旅 しようとするときも 土交通省令で定める料金を除く。 及び料金 条  $\mathcal{O}$ 国土交通大臣の認可を受けなけ 客自動 二第三号及び (旅 般 乗用 車 客の利益に及ぼす影響が比較的 運送事業者」という。)は、 旅客自動車運送事業を経営する者 第八十九条第 同様とする。 項第二号におい を ればならな V خ 小さい 運賃等 以下この て同じ。 ものとして (以 (旅客の運 これを変 条 下 第八

新

するときも同様とする。を国土交通大臣に届け出 8 る運賃及び料金を定めようとするときは、 一般 乗 合旅客自動 車 送 なけ 事 業者は、 ればならない。 第 項 あら これを変更しようと 0 玉 か じ 交通 め、 省 その旨

6

般 貸切 旅 客自 動 送 必事業の

賃及び

第 金を定め、・般貸切旅客・ 九 これ 条の .を変更しようとするときも同様とする。 二 一般貸切旅客自動車 客自 あらかじめ、 I動 車 運送事業者」という。)は、 国土交通大臣に届 運 送 !事業を経営する者 が出 旅 なければならな 客の 運賃及び 下 い料

2 事 この場合において、 読 み 業者」とあるのは、 前条第六項の規定は、 替えるもの とする。 同 条第六項 前項の 当 該 中 運賃及び料金につ 般 貸切 「当該一般乗合旅客自動 旅 客自 動 車 V 運 て準 送 事 用 業 でする。 車 運 لح 送

般 乗 用 旅 客自 動 車 運 送 込事業の 運 賃及び料

第

なければならない。これを省令で定める料金を除く。 般 九 金 秋 乗 用 旅 条の (旅客の **添客自** 利益に及ぼす影響が比較的小さいものとして国土交通 1動車 般乗用旅客自動車 運送事業者」という。)は、 これを変更しようとするときも同 )を定め、 · 運 送事業を経営する者 国土交通大臣の認可を受け 旅客の 様とする。 運賃及び **(以** 下 料

2 によって、 玉 1土交通-これをし 大臣は、 前 なければならない。 項の認可をしようと するときは、 次 0 基 準 2

兀 算定の基礎となる距離を定めたときは、これによるもの 運賃等が対距離制による場合であつて、三 (略) 玉 によるものである 土交通大臣がその

3 る協 運賃等を定めることができる。 活 (協議が調つた事項を国土交通大臣に届け出ることにより、 のための旅客の運送を確保する必要がある営業区域に係る運賃 つい 議 般 殿会にお 乗用旅客自 て協議が調つたときは、 11 て、 動車 地 域における需 運送事業者 当該協議会におい 第一 は 同様とする。 要に応じ当該 項の規定にかかわらず、 次に掲げる者を構 地域の て当該運賃等 住民の生 成 員とす 0) 該 当

一 当該営業区域をその区域に含む変更について協議が調つたときも、 当該営業区域をその区域に含む市町村又は都 道 府 県

四三 当該営業区 当該運賃等を定めようとする一 域を管轄する地方運 壁輸局長 般乗用旅客自動車運送 事業者

知 事 第 が関係住民 号に規定する市町 の意見を代表する者として指名 村 の長又は同号に規定する都 する者 道 府 県の

4 を 8 反 前 公聴会の 項 第 号に掲げる者は、 開催その他の住民 同 項の 利用者その他利害関係者 協議をするときは、 あら 0 かじ 意見

5 届 8 畑け出なける る料金を定めるときは、 うする。 般乗用旅客自動車運送事業者は、第一項の国土交通省、映させるために必要な措置を講じなければならない。 ればならない。これを変更しようとするときも、 あらかじめ、 第一項の国土交通省令で定 ようとするときも、同様その旨を国土交通大臣に

6 項」とあるの て準用する。この場合において、 車運送事業者」とあるのは 第九条第七項の規定は、 と読み替えるものとする。 は 「第九条の三第三 第三項 当 項」 該 同 0 条第七項中 運賃等及び と、 般 乗用旅客自動 「当該一般乗合旅客自 前 「第三項又は第四 項 Ó 料 車運送事 金に つい · 業

> よつて、 国土交通 大臣 は、 をしなければならない。 前 項 0 認可をしようと するときは、 次  $\hat{O}$

> > 準

(略)

兀 であること。 が その算定の 運賃及び料金が対距 基礎となる距離を定めたときは、 離 制による場合であ 0 て、 これによるもの 玉 1土交通 大臣

(新設)

新 設

3

も同様とする。 通  $\otimes$ 大臣に届け出 る料金を定めようとするときは、 一般 乗用 旅 **你客自** なければならない。これ 動 車 運 送 事業者は、 あら 第一 かじめ、 を変更しようとするとき 項 0 玉 その [土交通省令で定 旨を国土交

えるものとする。 合において、 とあるのは、 第九条第六項の 同 条第六項中 当 規定は、 該 般乗用旅客自動 前項 「当該一般乗合旅客自動車運送事業者  $\hat{O}$ 料 金につい 車運送事業者」と読み替 て準用する。 この 場

4

第 下七 は 十八条 ならない 同じ。)は、 自家用 次に掲げる場合を除っ 自動 車 こる場合を除き、たい(事業用自動車21 有償外 で運送 (T) 自 動 0) 車 用 を に供 1 . う。 して 以

定める者が、 \*\*・) 『き(ソ下「自家用有償旅客運送」という。)を行うとき当該地域を来訪する者の運送その他の国土交通省令で定める旅正める者が、次条の規定により地域住民又は観光旅客その他の||\*第二項に規定する特定非営利活動法人その他国土交通省令で||市町村、特定非営利活動促進法(平成十年法律第七号)第二(町)

# 三

### 輸審 議 会 へ の

第 るときは、 八十八条の二 運輸審 『審議会に諮らなければならない。 国土交通大臣は、次に掲げる処分等をしようとす

0 命令 て準用する場合を含 第九条第七項 (第九条の二第二項及び第九条の三第六項にお む。 0) 規 定による運賃又は料 金 0 変更

四 三 第 九条の三 一第 項  $\mathcal{O}$ 規 定 による 運 賃等 0 認 可

## ~ 六 略

### 害関 係 人等の意見 0) | 聴取

第 頭を求めて意見を聴取することができる。 2 八 V) + て、 九条 必要があると認めるときは、地方運輸局長は、その権限 権限に属する次に掲げる事 利害関 係人又は 参 考 人事の項 出に

般乗用旅 客自 動 車 運送事業における運賃等 関する認可

第 七 は 同 -八条 ľ 。 ) は、 自家用, 次に掲げる場合を除 自動 車 事 業用 自動 き、 車 以 有償で運 外の 自 送 動 0 車 用 を に供 、 う。 L

て以

## (略)

ならない。

交通省令で定める旅客の は の年 市町村 う。)を行うとき。 -観光旅客その他の当該地域を来訪する者の運送その他の国 法律第七号)第二条第二項に規定する特 他国土交通省令で定める者が、次条の規定により地 別 区 を含 む 運送 (以下 特定非営利 「自家用有償旅客運 村定非営利)村活動促進 活動 法 伞 

# Ξ

第八十八条の二 るときは、 (運輸審議会 運 |輸審議会に諮らなけ| | 国土交通大臣は、 へ の 諮 ればに ばならない。 掲 げる処分等をしようと

# 略

のい 命令 、て準用 第九条第六項 する場合を含む。 (第九 条の二 0) 第二項及び第九条の三第四 規定による運 賃又は料 金 頃に の 変 更 お

第九条の三 第 項 0 規 流定に よる 運 賃 及び料 金 0 認 可

### 5 六 略

### (利 害関 係人等の 意見の 聴 取

第 頭つ 八 を求めて意見を聴取することができる。 い十 て、 九条 必要があると認めるときは、 地方運 輸局長は、その 権限に属する次に掲げ 利害関 係 人又は 参考 る事 人 の項 出に

## 略

般乗用 旅客自 動 車 運 送 事業におけ る運 賃及び 料 金に に関する

2 \ 4

第 九十八条 をした者は、百万円以下の罰金に処する。 次の各号のいずれかに該当するときは、 その違反行為

り届け出た運賃若しくは料金によらないで、運賃又は料金を収定若しくは第九条第四項若しくは第九条の三第三項の規定による届出をしないで、又はこれらの規策九条第三項若しくは第六項、第九条の二第一項若しくは第 受したとき。

賃又は料金を収受したとき。 て隼甲する場合を含む。)の規定による命令に違反して、運第九条第七項(第九条の二第二項及び第九条の三第六項におう)。 .て準用する場合を含む。)の規定による命令に違反して、

金を収受し 可を受けた運賃若しくは料金によらないで、 第九条の三第一項の規定による認可を受けない (同条第三項の規定による届出をした場合を除く。 運賃若しくは料 で 若しく

しくは認可を受けた使用料金によらないで 又は第六十 条第 項の規定による認可を受けない 使用料金を収受し 若

一~十九 略

たとき。

兀

認可

2 \( \) 略

第九十八条 をした者は、 次の各号のいずれ 百万円以下の罰金に処する。 かに該当するときは、 その違反行為

定若しくは第九条第四項の規定により届け出た運賃若しくは料九条の三第三項の規定による届出をしないで、又はこれらの規第九条第三項若しくは第五項、第九条の二第一項若しくは第 金によらないで、運賃又は料金を収受したとき。

いて準用する場合を含む。)の規定による命令に違反して、 賃又は料金を収受したとき。 第九条第六項 (第九条の二第二項及び第九条の三第四項にお 運

可 を受けないで、 第九条の三第 運賃又は料金を収受したとき。 一項若しくは第六 又は認可を受けた運賃若しくは料金によらな 十 条第 項 0 規定による認

1~十九 略

匹